

## ☆第78回愛媛県高等学校総合体育大会陸上競技 女子ハンマー投げ 準優勝 ☆令和6年度全国高等学校総合体育大会 出場



長浜高等学校 3年

坂本 海 月 さん

坂本さんは6月1日(土)から3日(月)にかけて開催された県高校総体陸上競技の部女子ハンマー投げで準優勝、続く四国大会でも4位に入賞し、インターハイ出場を決めました。

中学時代は文科系の部活動に所属していたそうですが、高校に入学しハンマー投げを体験。その爽快感や面白さに引き込まれて入部したそうです。入部時に「(部活を)休まない、やり遂げる」と誓い真摯に練習に取り組み、2年時の県新人戦で優勝。「上にいることは目標とされること」とその立場にプレッシャーを感じたこともありましたが「メニューをただこなすだけでなく、自分でも考えながら」と試行錯誤を繰り返し投げ続けた結果、県総体では惜しくも2位でしたが、四国大会では自己ベストとなる41.71mを記録しました。現在は高校最後の大会となる四国選手権\*に向けて調整中の坂本さんですが「地域みなさんがすごく応援してくれて温かい声をかけてくれる。その声に応えられる結果を残したい」と夏の青空に向かって力いっぱいスイングを続けていました。

※四国選手権は8/24・25に開催  
取材日は8/10



## HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

## Vol.91 大洲農業高等学校

大洲農業高校は、今年で創立100周年の節目を迎えます。その記念として運動部フェスティバル（他校の運動部を招いての交流試合）を開催したり、人文字写真を撮影したりするなど11月に行われる記念式典に向けてさまざまな準備や活動が行われています。

みなさんの素朴な疑問は、『大洲高校と統合すると、どうなってしまうの?』ということだと思います（実際そのような質問をたくさん聞いています）。現在の大洲農業高校の2学科は、そのまま新大洲高校に引き継がれます。農場（畑や生産物・加工品）もそのまま残り、授業の科目は少し変わりますが学習内容も引き継がれる予定です。これまでの農業高校の特色を生かしつつ新しい学校に生まれ変わります。

この記事が掲載される頃には、11月9日(土)に開催する「100周年記念農業祭」の準備が進んでいることと思います。新たなスタートを切る前に、ぜひ今の大洲農業高校を堪能してください！



学校説明会の様子。多くの中学生・保護者が参加してくれました。



農業クラブ活動の研究発表会で最優秀賞を受賞！（全国大会出場決定）

一次回は長浜高等学校からです。—

夏まつり盛況

市内各地域で夏まつりが開催されました。今年は合併20周年事業特別企画もあり、どのまつりも大盛況。ながはま赤橋夏まつりではきらめき大使であるたきのえいじさんとかとうれい子さんのスペシャルライブを開催。大洲市民の歌「百年後僕らは…大洲より」をみんなで合唱しました。鹿野川夏まつりでは河辺川でのアユのつかみ取りにたくさんの子供が詰めかけるなど、訪れた多くの人が夏の楽しいひと時を過ごしました。



大洲市民の歌を大合唱



木山裕策さんミニライブ (かわべふるさと祭り)



アユのつかみ取り

Goodbye! & Welcome!

7月23日(火)、ALT (外国語指導助手) のSroka Patricia (パティ) とGuo Emily Wenjing (エミリー) の2人が任期を終えて大洲を離れることとなり、お別れの挨拶にと市役所を訪れました。パティは長浜中学校、エミリーは大洲南中学校をベース校として2年間勤務してくれました。

▷二人からのコメント

「世界は広い。たくさんの国から多くを学んでください。大洲のみんな、一緒に楽しい時間を過ごしてくれてありがとう！」



パティ (左) とエミリー (右)

また、新たに6人のALTが着任することとなりました。みなさんよろしくお願いします。

写真左から ※ ( ) は呼称  
Valencia Jennamarie Carmen (ジェナマリー)  
Panagopoulos Dimitri Salvatore (ディミトリ)  
Corcoran Samantha Rose (セブン)  
Fernandez Jr Arturo Jose (アルトロ)  
Bonifacio John Renzo Cojuangco (レンゾ)  
Lamb Mark Alexander (マーク)

|        |      |      |      |
|--------|------|------|------|
|        | ベース校 |      | ベース校 |
| ジェナマリー | 大洲南中 | アルトロ | 大洲小  |
| ディミトリ  | 平野中  | レンゾ  | 長浜中  |
| セブン    | 肱川中  | マーク  | 大洲東中 |



新しく着任した6人



## 伊予灘ものがたり10周年おめでとう

伊予灘ものがたりが10周年を迎え記念仕様に車両をラッピングし運行されています。初運行からちょうど10年にあたる7月26日(金)には、JR西大洲駅で地元団体「久米夢クラブ」を中心に子供たちなど約60人が、歓迎のお手振りを行いました。それぞれがお手製の旗や横断幕でお出迎えすると乗客のみなさんも笑顔で手を振り返し、車窓越しの交流となりました。

JR四国によると、記念仕様の伊予灘ものがたりは12月末まで運行されるとのことです。



## 新しい地域おこし協力隊員が着任

8月1日(木)、新しい地域おこし協力隊となる川崎倫<sup>つべ</sup>央<sup>ひろ</sup>隊員の辞令交付式を行い、徳永副市長から辞令が手渡されました。川崎隊員は東京都出身の33歳。林業大学校を卒業後、高知県内の森林組合などでの勤務経験がある森のスペシャリストで、妻の実家がある南予で働きたいと地域おこし協力隊に応募しました。

今後は林業の課題や問題の解決、新たな担い手確保のためのPR活動に取り組む予定です。



## 高校生が起業にチャレンジ

高校生起業家を育成する「大洲市高校生チャレンジプログラム」の1回目の講座を大洲イノベーションセンターで8月2日(金)に開催しました。今回はキックオフイベントとして、事業内容や今後のスケジュールの説明、また講師やメンター（指導・助言などサポートをする人）の紹介や参加者同士の交流を行いました。この育成プログラムへの参加者は現在19人で、それぞれが「以前から起業に興味がある」「働き方について理解を深めたい」と応募してくれました。



## 藤樹先生の足跡をたどる

日本の陽明学の祖として近江聖人とたたえられた中江藤樹とゆかりがあることから交流を続けている、大洲藤樹子ども会と滋賀県の高島市よえもん道場、松山市立河野小学校。この3団体が一堂に会しての交流会が、8月9日(金)に初めて開催されました。

大洲小学校に集合した小学4年から中学3年までの児童生徒55人は、大洲藤樹会のメンバーから説明を受けながら、藤樹が学び暮らしたゆかりの地を巡り、親睦を深めていました。

## バイオマス発電所竣工式

長浜町晴海地区に建設された大洲バイオマス発電所の竣工式が、8月10日(土)に同事業所で開催されました。

大洲バイオマス発電所は間伐材などが原料である木質ペレットを燃料とした出力約5万kWのバイオマス専焼発電所で、年間約3.5億kWhと約7万世帯分の発電量を見込んでいます。東山基代表取締役社長は式典で「2022年6月からの着工を経て無事運転を開始することができた。まずは安全・安定な稼働に努め、クリーンな再生可能エネルギーで社会全体の脱炭素化へ貢献していきたい」とあいさつしました。



## 市民大学に武内陶子さん登壇

8月17日(土)、大洲市総合福祉センターで市民大学(前期)を開催し、市内外から約270人が聴講に訪れました。大洲市きらめき大使で大洲市出身のフリーアナウンサー武内陶子さんが「いくつになっても希望しかない! ~イキイクワクワク生きるために~」をテーマにふるさと大洲の思い出やテレビ局時代の経験なども織り交ぜながら講演しました。大洲の魅力やバラエティ番組での出来事についての質問などで盛り上がり、会場は温かい雰囲気になりました。



## 清流の上でタスキをつなぐ

カヌーの普及と生涯スポーツの振興を目的としたカヌーツーリング駅伝大会が、8月18日(日)に肱川で開催されました。6人1チームがカヌーをバトン代わりにした駅伝方式で水上を駆けるこの大会は33回目を数え、今回は中学生6チームを含む27チーム、合計191人が参加しました。二宮市長の号砲とともに一斉にスタートした選手たちの中には、慣れないパドルの扱いに悪戦苦闘する姿も見られましたが、みなさん仲間とともに笑顔で汗を流していました。



## 何が出るかな? 遺跡発掘体験

全国的にも珍しい弥生時代(約2千年前)の石斧づくりの村である「村島宮の首遺跡」(菅田地区)で、8月24日(土)に遺跡発掘体験会を開催しました。

地元の菅田小学校と肱東中学校の生徒とその保護者が参加した発掘体験会では、市の学芸員から遺跡や出土品についての説明を受けた後、実際に土を掘って発掘調査を体験しました。参加者はスコップの扱いに苦労しながらも、弥生土器や石斧、矢じりなどが次々に発見されると、時間を忘れて夢中で土を掘っていました。



## 【梨ときゅうりの胡麻酢和え】



## 作り方

- ① キュウリは薄い輪切にして塩でもみ込み、水分が出たらしぼる。
- ② ナシは皮をむき、食べやすい大きさに切る。
- ③ ボウルにAを入れて混ぜ合わせ、キュウリとナシを加えて和える。



## 材料（4人分）

|       |          |
|-------|----------|
| ナシ    | 200g     |
| キュウリ  | 120g     |
| 白すりごま | 大さじ2     |
| 酢     | 大さじ1     |
| しょうゆ  | 大さじ1     |
| 砂糖    | 小さじ1と1/2 |

A

## ナシの栄養

ナシには、健康を維持する上で欠かせないミネラルが豊富に含まれています。また、整腸作用のある食物繊維やさまざまなビタミンが含まれており、暑い夏を乗り越えた、疲れた体を癒してくれます。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和の

第21回

## DXのすゝめ



今回は農業のDXについて解説します。

近年、農業の世界で注目されているのが、アメリカの企業「プレンティ」です。プレンティは、従来の農業で必須とされていた、土も農薬も日光も使わない新しい農法を開発しています。その農法とは、屋内の高い棚に農作物を並べて栄養分を含ませた水耕溶液をゆっくりと流し、LEDを照射するというものです。この方法ならば、天候の影響を受けず一年中栽培でき、無農薬で作物の安定供給が可能で、水の使用量は1%で済みます。しかも、従来の農法よりも狭いビルの敷地でできるので、地価の高い都市部でも地代を抑えやすく、消費地の近郊で栽培された野菜は高い鮮度のまま消費者に届けられます。

そして、このプレンティの技術の一つに、700種類もの作物について、気候などの条件に合わせて最適なパラメーターを調整するAIが利用されています。現在は、まだコスト面での課題がありますが、技術開発が今後進めば、最終的には世界のどんな場所でも農業ができて、食料問題の解決にも大きく貢献できるかもしれませんね。

## 文化財

こがくどうあと  
古学堂跡  
大洲市指定史跡  
個人所有



古学堂跡は、大洲八幡神社が鎮座する山の南麓に所在します。江戸時代に八幡神社の神主家によって設立された私塾で、明治維新まで庶民向けの教育機関として運営されました。

古学堂では身分に関係なく誰でも学ぶことができたこととされ、シーボルトの弟子となった三瀬諸淵（もろぶち）や函館の五稜郭を設計した武田斐三郎（あやさぶろう）など日本史上に名を刻む先人なども学んだとされます。

敷地内には「伊予最古の図書館」ともいわれる寛延3（1750）年建築の文庫が現存しており、平成30年7月豪雨により大きな被害を受けましたが、令和4年度に保存修理が行われ、往時の姿を今に伝えています。

（昭和31年9月30日指定）

# 肱川と

## ともに

Vol.4

自然豊かな清流・肱川。その美しい流れを守ろうとさまざまな取り組みが行われています。今回から2回にわたって肱川の環境についてお知らせします。



### 肱川の自然環境

肱川流域は、上流の宇和盆地や中流の大洲盆地を除いたほとんどの部分が山林で覆われ、自然が多く残されていることから、地形や気候特性に応じた多種多様な動植物が生息・生育しています。その豊かな生態系から、大型鳥類であるコウノトリやツル類も飛来するほか、県立自然公園に指定されている鹿野川ダムは、日本屈指のオシドリの休息地として知られています。アユやカジカ（ヨシノボリ）など市民の生活に密着した魚類も豊富な清流肱川。これからもたくさんの生き物と共生できる環境を守っていくことが大切です。



おしどりウォッチング in 肱川

水質が最も良好な河川2023（国土交通省）

| 河川名                 | 都道府県<br>(調査地点) |
|---------------------|----------------|
| しりべしとしべつがわ<br>後志利別川 | 北海道            |
| さつないがわ<br>札内川       | 北海道            |
| あらかわ<br>荒川          | 福島県            |
| みやがわ<br>宮川          | 三重県            |
| くまのがわ<br>熊野川        | 和歌山県           |
| きたがわ<br>北川          | 福井県            |
| ゆらがわ<br>由良川         | 京都府            |
| てんじんがわ<br>天神川       | 鳥取県            |
| おがもがわ<br>小鴨川        | 鳥取県            |
| たかつがわ<br>高津川        | 島根県            |
| よしのがわ<br>吉野川        | 徳島県            |
| ひじかわ<br>肱川          | 愛媛県            |
| しまんとがわ<br>四万十川      | 高知県            |
| かわべがわ<br>河辺川        | 熊本県            |
| ごかせがわ<br>五ヶ瀬川       | 宮崎県            |
| おまるがわ<br>小丸川        | 宮崎県            |

### 肱川を守るために

人々に多くの恵みを与え、固有の風土と文化を育みながら、生活に潤いと調和をもたらしてきた肱川。この清流を保全するため、大洲市では、平成13年6月に肱川清流保全条例を制定しました。この条例で定める目指すべき清流の姿「水深3～5メートルくらいまでであれば川底までよく見える川」「美しい景観が保たれ、住民の生活環境と調和している川」を目標に、市民・事業者・行政が一体となって環境保全に取り組んでいます。

また、肱川流域の市町と国土交通省、愛媛県が連携して「肱川流域清流保全推進協議会」を平成14年7月に設置しました。河川の水質を改善するために下水道の整備、合併処理浄化槽の普及啓発をはじめとした汚水処理人口の拡大や、家庭での食用油の正しい処理、洗剤の適正な使用の啓発などを継続して行っています。

その成果として令和5年に国土交通省が実施した一級河川の水質調査で、肱川水系肱川が全国の「水質が最も良好な河川」に吉野川や四万十川などと共に選ばれました。

これからも「みんな輝く肱川流域のまち」を目指して、みんなで環境保全に努めていきましょう。